

このたび日本プライマリ・ケア連合学会では、国際キャリア支援委員会と専門医部会でワークショップ「温故知新 ～日本のメディカル・ジェネラリズムを求めて」を開催いたします。

これはジェネラルにみることの専門性やその本質について、若手からベテランまで世代を交えて日本のメディカル・ジェネラリズムについて議論し、日本のプライマリ・ケアの確立と普及のために言葉を紡いでいくことを目的としています。

そこで、まず『Medical Generalism : Why expertise in whole person medicine matters』の主著者で世界家庭医機構（WONCA）の次期会長である Amanda Howe 先生と、日本の町医者として第一線でご活躍をされている鈴木内科医院院長、鈴木央先生から基調講演をいただきます。その後、多世代の小グループでの対話を繰り返し、最後にシンポジウムを行う予定です。

皆さんの日々の実践で感じておられることや大事にしていることが、日本のメディカル・ジェネラリズムへの貴重な知見となります。是非、ご参加いただき、日本のジェネラリストの専門性の黎明期にお力添えをいただけましたら幸いです

主催：日本プライマリ・ケア連合学会 国際キャリア支援委員会、専門医部会

期日：平成 27 年 4 月 11 日（土）

会場：ベルサール日本橋（日本橋駅直結、東京駅から徒歩 6 分）

時間：15：00～19：00（懇親会：19：30～21：00）

内容：基調講演、ワークショップ、パネルディスカッション

参加費：1 人 ¥3,000（懇親会参加費（別途）：1 人¥5,000）

※ 学生（大学院及び大学の修士又は博士の学位を取得する課程の学生を除く）および初期研修医は共に無料です。

定員：先着 125 名

申込み：<https://business.form-mailer.jp/fms/d936fc2a40861>

お問い合わせ：日本プライマリ・ケア連合学会本部事務局 [office@primary-care.or.jp](mailto:office@primary-care.or.jp)

#### <Amanda Howe 教授略歴>

- 1979 年 ロンドン大学 医学士、ケンブリッジ大学 文学修士
- 1983 年 英国家庭医学会（RCGP）正会員・専門医資格（MRCGP）
- 1984 年 フォックスヒル・メディカルセンター 家庭医（～2001 年）  
家庭医療指導医と卒前教育チューターも務める  
医学博士、教育学修士
- 1991 年 シェフィールド大学 臨床講師（～1995 年）
- 1996 年 シェフィールド大学 上級講師（～2001 年）  
カリキュラム改革と家庭医教育のリーダーを務める
- 2000 年 RCGP 研究委員長（～2005 年）
- 2007 年 世界家庭医機構（WONCA）女性と家庭医療学作業部会長（～2010 年）
- 2007 年 アカデミック・プライマリ・ケア学会会長（～2010 年）
- 2009 年 RCGP 名誉幹事（～2013 年）

現在：

- イースト・アングリア大学ノリッジ医学校 プライマリ・ケア教授
- ノリッジ Bowthorpe 診療所家庭医
- RCGP 家庭医評価と再認定専門アドバイザー
- RCGP 評議会副会長（2013 年～）
- WONCA 次期会長（2013 年～16 年；会長任期は 2016 年～）